
 学 会 記 事

第 272 回新潟外科集談会

日 時 平成 23 年 12 月 3 日 (土)
午後 1 時 30 分～午後 4 時 15 分
会 場 新潟大学医学部 有壬記念館

一 般 演 題

1 胃穿孔を来した絞扼性腸閉塞の 1 例

仲野 哲矢・萬羽 尚子・佐藤 大輔
内藤 哲也・谷 達夫・長谷川 潤
島影 尚弘・田島 健三

長岡赤十字病院 外科

絞扼性腸閉塞が原因で胃穿孔を来したと考えられる稀な症例を経験したので報告する。

症例は 86 歳，女性。虫垂切除術の既往あり。腹痛，嘔吐を主訴に来院し CT では盲腸周囲の内ヘルニアによる腸閉塞と診断された。著明な胃拡張が見られたが穿孔の所見はなく，経鼻胃管にて約 3,000ml の内容をドレナージしたのち緊急手術を行った。回盲部付近の腹膜の小孔に回腸が嵌頓，捻転したと考えられた。絞扼部の約 10cm の回腸が壊死に陥っていた。また，胃弓隆部を中心に壊死に陥っており前壁に穿孔を認めた。胃全摘術および，壊死回腸の切除術を行ったものの DIC，多臓器不全となり術後 2 日目に死亡した。

絞扼性腸閉塞による著明な胃拡張が，虚血，壊死を惹起し穿孔に至ったものと推定された。

2 下血により発症した虫垂出血に対し，虫垂切除を施行した 1 例

堀田真之介・新国 恵也・西村 淳
河内 保之・川原聖佳子・牧野 成人
北見 智恵

長岡中央総合病院 消化器外科

虫垂潰瘍による虫垂出血は稀な病態であり，報告例は極めて少ない。この度我々は，下血を主訴に発見された虫垂出血に対し，虫垂切除術を施行した 1 例を経験したので，若干の文献的考察を加えて報告する。

症例は 51 歳，男性。2011 年 10 月，朝方より下血を認め，当院内科受診。CT を施行され，虫垂から盲腸内にかけて造影剤漏出を認めた。下部消化管内視鏡にて虫垂開口部から新鮮血の流出を認めた。虫垂出血の診断で当科紹介となり，緊急で虫垂切除術を施行した。摘出標本には明らかな腫瘍性病変は認められなかった。術後経過は良好で，症状は消失し退院した。病理結果は虫垂潰瘍の診断であった。

3 3 月 11 日の大震災による避難生活者の外科手術の現状

太田 一寿

太田西ノ内病院 外科

当院は，福島県のほぼ中央の郡山市にあり，この地域の中核病院である。

3 月 11 日の大震災，原発事故後，当市にも多数の人々が避難してきた。これらの人々は，避難で精一杯で体の具合が悪くとも，病院に行くことができなかった。どうしようもなくなり病院を受診した時には，かなり進行していることもある。

当科でも何人かの避難生活者の手術を行ったが，やはり進行していることが多かった。

当科における避難生活者の手術現状について報告する。